

不思議な不思議な話し

チャトゥカム（タイのお守り）の話し

（この話は、あまり世に広げないで下さい。読んだあなたの胸に）

平成〇年8月〇日 私たち石川県タイ友好協会の「タイ国友好の旅」の一行〇人はタイ国南部のナッコンシータマラート県（以下ナッコン）に行った。タイ国にはナッコン〇〇の名前の付く地名は可成り有る。

訪問の、ナッコンは伝説上の人物「タイ国の王様になったと言う日本人武将、山田長政」が中部のアユタヤの日本人町からシャム国王から派遣されて、現在ならば知事相当職になりここを平定しここで客死した。時代は1630年、日本では寛永6年・明正天皇の時代この年紫衣事件が起きた。寛永は島原の一揆や大飢饉があった激動の時代。

タイ南部の3県は、その昔マレーシア領だったのでイスラム教が多くテロ事件が少ない。長政は、この時代にここを制圧していたので功績が有るとか残虐者だとか功罪いろいろ言われ日タイ共同の記念碑が建立されています。カオルワン国立公園の中にお札にも印刷されているクルンチン滝と、現在のタイ仏教の発祥の地と言っても良い「ワット・プラ・マハタート」と言う本山に相当する寺がある。スリランカからの仏舎利が納められた1500年以上の仏塔がある。



バンコクから飛行機で一時間半位のこの地との交流は、ここから、金沢経済大学・金沢大学院に進んだテムラックチャオの出身地であり、現在まで30年以上の交流をして居る。このワット・プラ・マハタートのお守りチャトゥカムラマテープ（略してチャトゥカム。一般的にお守りは（クラマンラーンと言う）は特に有名で、いただくと御利益があると。タイ人で知らない人が居ないくらい伝説的なお守り。

ピストルで撃たれたがぶら提げていたのでこれに当たり命拾いをしたとか、宝籤に当たったとか。・・と言う御利益が有と言うのでタイに行ったときにはバックの中に入れて居た。帰国するとそれなりの所に保管していた。

タイ国の政界はクーデターの度に軍政になり、本格的な民政は少なく、チュアンさんは貴重な方で、氏と最初の出会いは、首相を辞めた直後に福岡市に講演に来た時「兼六園を散策したい」

と言う事で、予定にない行動で小松着で来沢。その情報を得たので、急速チャオや他の留学生に声をかけ小松に出迎え。チャオは以前チュアンさんの民主党の国会議員の秘書をしていた関係で顔なじみ。その様な出会いがあり以来親しくさせて頂いていた。ナッコン訪問の二日目、その日午前は寺の見学と買い物という予定で時間的にゆとりが有り、先ずワット・プラ・マハタート行く事に。「チュアンさんに長くお会いしてなく、会いたいねー」と話しながら境内の中頃迄来ると異常な人ばかり。どうもチュアンさんが来ているらしいと。まさか、願望が叶えられると・・・本当かと・・・何となく恐る恐るという感じで歩いていた。

人ばかりをかき分ける様にして人混の中に入ると、タイのお守りチャトウカムを僧侶と一緒に作っている所。思わず「チュアンさん、日本の前田です・・・タイ語」本人気づき握手。それ以上の事は出来ずその場をはずれた。今日は、チャットカムを提げて居ると効果が有るねと、無理矢理効果が有った事にして参詣に向かう。こんなに立派な仏像を拝まして貰っても、タイからペンダント程度の**仏像**しか持ち出しが出来ないからネと話していると、チャオの携帯が鳴り、「市長のソムヌックさんが、全員自宅に直ぐ来て欲しい」と言う事。

何の用か分からないが、タイの偉い人の自宅を拝見しようと言うことで訪問する事になる。ソムヌックさんは金沢に2回来ていて、金沢の街にゴミがないのに驚きナッコンの街に、大きな塵箱を置きゴミを散らかさないようにし街の美化には効果が有ったが、集めたゴミの処理が完璧でなく難儀して居る。来沢の時「宅配便」を知り、市長引退後、県内限定の宅配便の会社を作り繁盛して居る。

メーンの通りから300メートル位続く林の道・・・ここは全て市長の私有地だと。普通の小学校のグラウンド2個くらいの細長い池の畔に大理石の自宅。メードさんらしき人や庭師が執事が数人。「皆さんは、一階に居て下さい、前田だけ二階に上がれ」と。何事か分からず二階に。

中央の間の壁に四段くらいの棚に、20体以上の仏像が安置されていた。この中であなたの好きな仏像を日本に持って帰れと。交流を進めている功績に感謝して記念にあげるからと。突然の事でどれにしようかと迷う。上の真ん中は立派な物。頂きたいが、これは由緒ある物だろう。気兼ねしながら上段のやや右寄りの物を頂く。これは、プミポン国王より功績が有ったので頂いた物と。一階で待つ皆さん何事かと興味深々。仏像を貰ったと報告すると響めき。また御利益が有ったねと。帰国するとき、さて、仏像を頂いたが空港でチェックされたら没収される・・・兎に角何とかと言う事で市長に理由書を書いて貰う。幸い出国の時何にも言われなかった。



参詣をする予定が、急に変更に成ったので再度ワット・プラ・マハタートに引き返す。こんな不思議な事が有るって奇跡だね、この事をテレビで放送したいねと話していると境内の真ん中あたりに、カメラやマイクを持った一団。通り過ぎ様とすると「第三チャンネルです、ここに何し

に来たのですかインタビューに答えて貰えないでしょうか」と。この放送局には過去何回か放送して貰っている。

「日本から観光と学校との交流で今市長宅を表敬訪問した」と説明。皆さん、奇跡の様な事が次から次と起こり、チョット気味が悪いねと。境内順路の最後の建物が祈願所。個別の祈願はここでして下さいと 言う事でそれぞれが祈願。

金持ちに、健康に……。金沢市内中央部の女性のKさんが、娘が都会に嫁いだがなかなか子どもに恵まれず、ここでお願いしてみようかと。皆さんに聞こえる様に祈願所に。授かるといいねと皆さんが願った。

その晩は、リゾートで宿泊。夜、レストランで食事が始まろうとしているのにKさんが来ない。キッチンと時間を守る方なのにと思っ待っていると、泣きながら来た。どうされましたと聞くと、娘から電話が有り、妊娠して居る事が分かったと、嬉しくて部屋で泣いていたと。

万歳と言う人も居たような気がする。またまた奇跡。気味悪くなりこれ以上の御利益結構ですと……。と言う事でその後何事もなく帰国。Kさんは娘に代わって翌年の「タイ国友好の旅」に参加し御礼の参拝をした。

帰国後、一ヶ月位経過した頃、市内北部の男性で三菱系の企業に勤務して居たHさんが、軽自動車三菱バジロミニで自宅の近くの小路を走っていると、若い女性が一時停止をせずHさんの運転席側にぶつかる。Hさんの車は転倒、一回転した。Hさんは奇跡的に無傷で打撲等もなくピンピンとして居た。普段滅多に首に提げないのにその時はチャトウカムを首に提げて運転して居た。会合に出席したとき「あのお陰で助かったと」披露。

普段は、厳重に保管しているのも持ち出す事は無く何となく年月は過ぎ、その間平穏無事な生活をしていた。

2018年2月所属する某団体の古参の会員Aが（この業界団体をどちらかという独善的な態度で仕切っていた様だ）ある案件で理不尽な事をし、世話人の私と他の1名また他の会員を悩ませていた。嘘偽りの話しで偽計業務妨害と威圧感を与える行為がありストレスが2人は溜まっていた。問題が発生してから間もなく、特に私はストレスから来る障害で、腰痛により階段を登るのに苦労するように成り整体等の治療を受ける事に成った。問題発生から二ヶ月目、何気なく久し振りでチャットカムを取り出して磨いていると何となく気持ちが晴れてきた。Aの行為に誰も同調する者が居なくAは加入の団体を脱退すると言う文書を世話人の私に提出して来た。Aはその後、公的病院に入院し心臓の手術をしたと。別に私らが懲らしめのために念じるなどの何かをした事も無く、Aさんに長い人生脱線する事もある元に戻っては伝えた人も居る様だが変化は無い。その後、私と他の1名も回復しつつある。